

## 令和7年度第3回千葉県図書館協議会配付資料一覧

- ・ 座席表
  - ・ 次 第
  - ・ 千葉県図書館協議会委員名簿
  - ・ 千葉県図書館協議会関係条例・規則
  - ・ 千葉県立図書館各館長等一覧
  - ・ 資料1 千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）の進捗状況（R7.12末現在）
  - ・ 資料2-1 千葉県読書バリアフリー推進計画の進捗状況について
  - ・ 資料2-2 読書バリアフリー推進に係る目標
  - ・ 資料3 令和8年度当初予算（案）
  - ・ 資料4 令和8年度事業計画（重点事業）（案）
  - ・ 各館の館報等・・・会議当日に配付
- 参考：千葉県教育委員会ホームページ公開資料（会議当日各委員の机上に準備）
- ・ 千葉県立図書館基本構想（平成30年1月千葉県教育委員会策定）
  - ・ 新たな知の拠点づくりへの提言  
（平成30年10月新たな「知の拠点」づくり有識者検討会議）
  - ・ 新千葉県立図書館等複合施設基本計画  
（令和元年8月千葉県・千葉県教育委員会策定）
  - ・ 新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画  
（令和3年8月千葉県・千葉県教育委員会策定）
  - ・ 千葉県子どもの読書活動推進計画（第4次）（令和2年2月千葉県教育委員会策定）
  - ・ 千葉県読書バリアフリー推進計画（令和5年3月千葉県教育委員会策定）
  - ・ 新千葉県立図書館・県文書館複合施設建築工事基本設計（令和5年6月千葉県）
  - ・ 新千葉県立図書館・県文書館複合施設建築工事実施設計（令和7年3月千葉県）
  - ・ 千葉県子どもの読書活動推進計画（第五次）（令和7年10月千葉県）

## 令和7年度第3回千葉県図書館協議会 次第

日 時 令和8年2月18日（水）  
午後2時  
場 所 ホテルプラザ菜の花  
3階会議室「菜の花1」

### 1 開 会

### 2 議長あいさつ

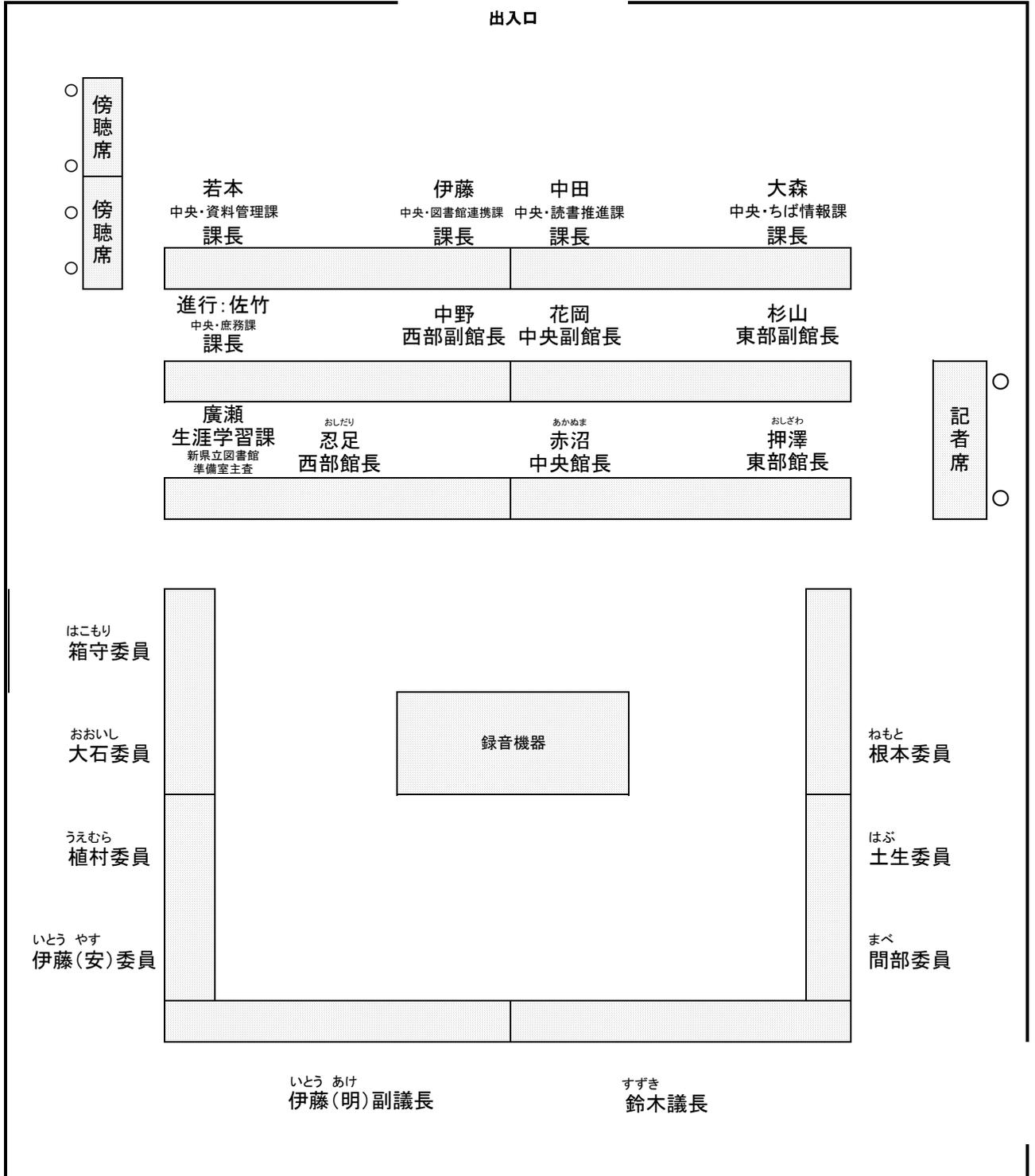
### 3 議 事

- (1) 千葉県立図書館行動計画（令和6年度～8年度）の進捗状況について（報告）
- (2) 千葉県読書バリアフリー推進計画（令和5年度～9年度）の進捗状況について  
（報告）
- (3) 令和8年度千葉県立図書館当初予算案について（報告）
- (4) 令和8年度千葉県立図書館事業計画について（協議）
- (5) その他

### 4 その他

### 5 閉 会

# 令和7年度第3回千葉県図書館協議会 座席表



## 千葉県図書館協議会委員名簿（第38期）

任期 令和7年7月22日～令和9年7月21日

No.	氏 名	所 属 等
1	いとう 明美 伊藤 明美	社会福祉法人芳雄会図書顧問・司書 千葉大学非常勤講師
2	いとう やすよ 伊藤 安代	千葉県PTA連絡協議会書記
3	うえむら やしお 植村 八潮	専修大学文学部教授
4	おおいし ゆか 大石 由香	山武市松尾図書館長
5	かねこ かずお 金子 和男	千葉県立松戸南高等学校長 (千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会副会長)
⑥	すずき ひろこ 鈴木 宏子	前千葉大学附属図書館職員
7	ねもと あきら 根本 彰	東京大学名誉教授
8	はこもり たかこ 箱守 貴子	千葉県特別支援学校PTA連合会副会長
9	はぶ こずえ 土生 こずえ	木更津市立木更津第二小学校長 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会会長)
10	まべ ゆたか 間部 豊	帝京平成大学人文社会学部准教授

所属：令和7年7月22日現在【敬称略五十音順】

○：議長

## 千葉県図書館協議会関係条例・規則

### 教育機関設置条例(抜粋) (昭和三十二年四月一日条例第四号)

(図書館協議会)

第五条 図書館に図書館協議会を置く。

2 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、十人以内とする。

4 第二項の委員の任期は二年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前三項に定めるもののほか、図書館協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

### 図書館協議会会議運営規則 (昭和三十六年八月三十一日教育委員会規則第十号)

第一条 図書館協議会会議(以下「会議」という。)には、委員の互選による議長及び副議長一人を置くものとする。

第二条 議長及び副議長の任期は二年とする。

第三条 議長は会議を主宰する。

第四条 副議長は、議長を助け、議長に事故あるときは、その職務を行う。

第五条 会議は、議長が招集する。

第六条 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議決は、出席者の過半数で決める。

第七条 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、議長が、あらかじめこれを通知しなければならない。

第八条 招集は、開会の日前、七日までに、これを通知しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない。

第九条 会議は、定例会及び臨時会とする。

第十条 定例会は、年三回以上これを招集しなければならない。

第十一条 臨時会は、必要がある場合においてその事件に限りこれを招集する。

第十二条 会議招集の通知後に急を要する事件があるときは、第七条の規定にかかわらず、直ちに、これを会議に付議することができる。

第十三条 関係職員は、会議に出席して意見をのべることができる。

第十四条 この規定に定めるもののほか、会議に必要な事項は別にこれを定める。

第十五条 会議に関する庶務は千葉県立中央図書館で行う。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和三十二年四月一日教育委員会規則第二号)

この規則は、公布の日から施行する。

千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）の進捗状況（令和7年12月末現在）

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値	
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
1 県内図書館の中核としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援	運営相談の実施 ・全市町村を訪問し、図書館運営等について助言や援助を行う。 ・電話やメール等による運営相談は随時受け付ける。	▶	▶	▶	・訪問運営相談、 R6:中央エリアの全30市町村、西部エリアの全11市 東部エリア11市町/13市町 R7:中央エリアの全30市町村、西部エリアの全11市、東部エリア11市町/13市町 ・電話やメール等による相談 R6:(中:61件、西:47件、東:32件) R7(12月末):(中:70件、西:36件、東:16件) ・市町村立図書館等の運営相談件数【評価指数】 R6:(中:159件、西:100件、東:75件) R7(12月末)(中:149件、西:62件、東:65件)	市町村立図書館等の運営相談件数	345件	334件	276件
		資料の図書館間貸出 ・市町村立図書館等の求めにより、県立図書館所蔵資料を提供する。	▶	▶	▶	・資料の図書館間貸出（総合計から高等学校への貸出冊数を除いた数値） R6:(中:26,343冊、西:14,898冊、東24,500冊) R7(12月末):(中:20,996冊、西:10,602冊、東:18,224冊)				
		市町村立図書館等職員への情報発信 ・図書館ホームページを活用し情報の発信・共有を行う。	▶	▶	▶	・図書館ホームページ上からログインする「図書館員のページ」を活用し、(R6)「県立図書館電子書籍サービスへのリンクのお願い」、(R7)「千葉県内横断検索のバナーについて」等の情報を発信した。				
		新館における資料搬送サービスの検討 ・市町村に対するアンケート調査を実施し、新館における資料搬送について検討を進める。	▷	▷	▷	・R7に実施した市町村に対するアンケートを基に1館体制における資料の搬送方法や資料搬送車のコース等について検討を行っている。				
		県内最後の1冊保存体制の検討 ・県内図書館の意見を聴取し、共通ルール（案）を作成する。	▷	▷	▷	・市町村立図書館から除籍リストの提供を受け、市町村立図書館での除籍の状況を把握するとともに、昨年度に実施した意見聴取の結果と併せて、共通ルール（案）について検討を行っている。				
(2) 図書館職員研修の充実	研修会の実施 ・経験別研修、分野別研修の研修結果を分析し、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	・経験別研修として新職員、中堅職員、図書館長研究協議会、分野別研修として児童、レファレンス、障害者、課題解決支援、地域行政、学校図書館運営、大学連携の研修会を実施した。 ・研修時のアンケート結果等を分析し課題を整理するとともに、事例収集をしながら研修プログラムの見直しを検討している。	研修会の受講者数	720人	696人	663人	
		研修機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や地域別開催、研修動画の配信を実施する。	▶	▶	▶					・オンラインで十分な効果が見込める研修については、オンラインや対面との併用で実施し、可能な限り後日視聴も可能にした。オンライン研修の課題等の洗い出しを進めるとともに、地域別開催について検討を行う。
		研修会のアーカイブ化 ・国内事例等の調査や課題等の洗い出しを行い、研修会のアーカイブ化について検討を進める。	▶	▶	▶					・事例収集と課題の洗い出しを進めている。 ・研修内容や資料等を、可能な限り「図書館員のページ」へ掲載している。
2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	読み聞かせ活動の推進 ・読み聞かせボランティア養成講座や組織運営を学ぶ講座等を実施する。 ・読み聞かせボランティア等の活動の場を提供する。	▶	▶	▶	・読み聞かせボランティア講座の開催 R6指導者養成講座2回 R7 指導者養成講座、ステップアップ講座 各1回 ・情報提供「千葉県内子どもの本読書グループ調査結果」を図書館員のページに掲載。	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	1030回	1,079回	696回
		県立学校への電子書籍サービスの提供 ・県立学校のICT環境を活用して、県立図書館の電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶	・県立学校等が活用しやすいサービスとなるよう実施に向けて検討を重ね、R7は4校にモデル校としてサービスを提供した。 ・「電子書籍学校利用ガイド」を作成し、モデル校に提供した。				
		ヤングアダルトサービスの拡充 ・市町村立図書館や学校図書館等の担当者を対象とした研修会を実施する。 ・ヤングアダルトサービスに関する情報交換等の場を提供する。 ・市町村立図書館や学校図書館等と連携事業を研究する。	▷	▶	▶	・連携事業 R6 県立千葉中学校との連携事業を行った。文化祭で図書委員会の生徒が読書に関するイベントを企画し、県立図書館が活動の支援を行った。 ・情報交換の場の提供 R7 ヤングアダルトの推進について中学生の提案の場を設けた。				

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値	実績値
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
		外国にルーツのある子どもや保護者等への支援 ・母語に触れることができる児童書を収集する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会等子ども向けの国際交流を目的としたイベントを実施する。 ・関連諸機関に県立図書館の多文化サービスについての情報を提供する。 ・市町村立図書館等の多文化サービスを支援する。	▷	▷	▶	・外国語絵本の収集 R6 133冊（ウルドゥー語、シンハラ語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、ペルシア語）を収集し提供を始めた。 R7 67冊（ベトナム語） ・「世界とふれあうおはなし会」の開催 R6、R7 ・外国語絵本のリストを県立図書館ホームページの「こどものページ」に掲載。				
		聴覚や言語に障害のある子どもやその保護者への支援 ・手話付きおはなし会の開催を研究する。 ・病院等への出前事業などアウトリーチサービスを研究する。	▷	▷	▶	・他館事例等の情報収集を行っている。 R6 特別支援学校の訪問読書支援で、院内学級でのおはなし会を行った。				
		児童書選定支援用資料の収集 ・市町村立図書館等向けの児童書選定支援用資料の収集範囲や運用等の検討を進める。 ・児童書選定支援用資料のモデル展示や出張展示、リスト公開等について検討を進める。	▷	▷	▶	・資料の収集範囲や運用等の案の見直しを行っている。				
		子どもたち自身が参加するイベント等の実施 ・図書館マイスター講座、読書会やビブリオバトルを実施する。 ・本の紹介POP作成など設備・機材を活用したイベントについて研究する。	▷	▷	▶	R6 県立千葉中学校との連携事業を行った。（「ヤングアダルトサービスの拡充」参照。） R7 中学生による職場提案のモデル事業を行った。				

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値	
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
	(2) 学校図書館への支援	資料の貸出 ・調べ学習用の学校貸出セットを整備（新規作成・改訂）し提供する。 ・未登録校に対し、新規登録を促進する。	▶	▶	▶	・学校用セット R6:新規1セット、改定17セット R7:新規4セット、1シリーズ予定 ・新規登録校 R6:1校 R7:1校	貸出利用があった県立学校等の割合	50.0%	42.9%	41.6%
		県立学校の読書活動の支援 ・県立高等学校の生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。 ・県立特別支援学校を訪問し、読書活動を支援する。	▶	▶	▶	・生徒向け読み聞かせ講座 R6:7校 ・図書館活用講座 R6:1校 ・特別支援学校への読書支援 学校を訪問し、おはなし会や運営相談を実施 R6:(中央)7校、(西部)11校、(東部)6校 R7:(中央)3校、(西部)11校、(東部)6校				
		学校における探究学習の支援 ・教科書単元・テーマ別資料リストを作成（追加・改訂）し提供する。 ・図書館を活用した授業等についての情報を発信する。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。	▶	▶	▶	R6資料リスト「小学校国語科」に掲載した資料をXで紹介した。 R6資料リスト「千葉県にゆかりのある人物」を更新した。 R6「高校生向け調べ方案内（パスファインダー）：職業・就職活動について調べる」の改訂版を作成した。 ・県立千葉中で第一線の研究者を講師に招いて講演を行い、関連資料を学校図書館に提供し展示した。				
		市町村立図書館等と小・中学校図書館連携の支援 ・教科書単元・テーマ別資料リストなど資料情報を市町村立図書館等を通じて学校図書館に周知する。	▶	▶	▶	R6「千葉県の伝統的な産業」のブックリストの紹介チラシを作成した。 R6 学校図書館・公立図書館連携研修会で、資料リストについて学校図書館と市町村立図書館等へ周知した。 ・市町村立図書館等を経由した小中学校への貸出 R6:492冊 R7(12月末):525冊				
		資料の県立学校間貸出 ・県立学校等の相互貸借について、ニーズを把握するために実態調査を実施し、運用等の検討を進める。	▷	▷	▷	・各団体等からの意見を聞き取りながら、1館体制の中での県立学校等における学校間での相互貸借資料の搬送方法について検討を進めている。				
3 課題解決支援図書館	課題解決支援サービスの充実	課題解決支援サービスの提供 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を提供する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集・提供する。 ・テーマごとに基本資料や調査方法をまとめたパスファインダー（調べ方案内）を作成・提供する。 ・時事問題等に関する情報提供サービスとして「図書館から世界（ニュース）が見える」を作成・提供する。	▶	▶	▶	・(中央)暮らしに役立つ法律判例情報講座（講演）（演習）開催 ・(西部)健康・医療情報サービスの紹介リーフレットを改訂し利用促進に努めた。 ・地域振興や防災等に関する資料を積極的に収集することに努めた。 ・パスファインダー R6:6件改訂 R7:2件新規 1件改訂 ・「図書館から世界（ニュース）が見える」作成 R6:12件 R7:7件（12月末）	パスファインダー及び「図書館から世界（ニュース）が見える」ページ閲覧数	46,050回	34,581回	23,405回
		オンラインデータベースの整備 ・県民のニーズに対応した幅広い分野のデータベースを整備する。	▶	▶	▶	・データベース統計の確認や講座等のアンケートで要望の把握に努めている。				
		オンラインデータベースの利用時間の拡充 ・図書館の閉館時間帯でもデータベース利用ができるサービスについて研究する。	▷	▷	▶	・DiLaw等データベースに関する講座で講師との情報共有や利用者の要望などの把握に努めている。				
		県政の重要課題の把握 ・県政の重要課題の把握に努め、課題に沿った資料の収集を行う。 ・県議会図書室と連携して県議会議員の調査研究活動を支援する。	▶	▶	▶	・県の計画や議会関係及び広報等をチェックし、課題の把握に努めている。 ・県議会の発行物（県議会だより、新着図書案内等）をチェックし、課題の把握に努めている。				
		県内機関との連携強化 ・県内機関の活動や取組に関する情報を、図書館の情報発信機能等により県民に提供する方法を研究する。	▷	▷	▶	R6年11月アジア経済研究所、放送大学と意見交換会を実施した。 R7年3月アジア経済研究所図書館と現物貸借についての覚書を締結した。 R7 アジア経済研究所との連携展示を実施。				
		県の政策形成の支援 ・千葉県の政策や関連イベント関係資料の収集・提供方法を検討する。 ・情報探索技術向上研修など県職員向けの研修講座を企画する。	▷	▷	▶	・千葉県のHPや発行物などで情報収集しているところである。 ・研修講座 暮らしに役立つ法律・判例情報講座・演習では県職員を主なターゲットとし、開催時間等を工夫して実施した。 R7 電子書籍体験会を県庁で開催。				

【資料1】

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見通しを含む）	評価指標	目標値	実績値	実績値
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
		新館における資料管理の検討 ・電子書籍の収集など新館における資料収集・整理・管理方法を検討する。	▷	▷	▷	・電子書籍サービスの資料紹介棚に各館で実施中の課題解決支援サービスのテーマにあわせた資料の収集を行う。				
		新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究 ・多様化・専門化する県民ニーズに応えられる蔵書構築を目指し、各主題の情報収集や研究を行う。 ・各主題における資料や情報源に関する知識を有する司書の育成方法を研究する。	▷	▷	▷	・専門的な図書館（室）を視察したり、司書との情報交換を行った。今後の研究課題として先行事例の研究や情報収集等に努め、検討をしていく。				

【資料1】

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値	
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料の収集の充実 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め、千葉県関係の寄贈資料を収集する。 ・官公庁等のポーンデジタル資料を漏れなく収集する方法を研究する。	▶	▶	▶	・千葉県資料（購入を除く）の受入数 R6 2,507冊（中央1,995冊、西部313冊、東部199冊） R7 1,632冊（中央1,195冊、西部260冊、東部177冊）（12月末現在） 選書ツールや出版情報の活用方法を再確認するなど収集体制の強化に向けた取組をすすめる。	千葉県関係資料受入数（購入を除く）	2,392冊	2,507冊	1,632冊
		千葉県関係資料の提供 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースにデータを提供する。 ・パスファインダー、テーマ別リスト、書誌情報など千葉県関係情報に到達しやすい環境を整備する。 ・千葉県関係資料データベース「菜の花ライブラリー」にデータを追加する。	▶	▶	▶	・国立国会図書館レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例件数 R6：19件登録、3件更新 R7：6件登録 ・パスファインダー R6：1件改訂 R7：なし ・テーマ別リスト R6：5件発行、1件改訂 R7：10件発行 ・「図書館から世界（ニュース）が見える」 R6：1件発行 R7：1件発行 ・図書の書誌情報に索引、目次情報追加 R6：52件 R7：1件 ・千葉県歴史関係雑誌記事索引追加 R6：743件 R7：0件 ・新聞・雑誌記事索引追加 R6：千葉日報1984年3月～12月、2020年12月～2021年2月 R7：千葉日報1983年9月～1984年2月、2021年3月～7月	レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例の閲覧数	99,775件	910,257件 249,675件	126,240件
		千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料などのデジタル化を計画的に進める。	▶	▶	▶	・千葉県関係資料のうち、保存や公開等の観点から資料を選定し、資料のデジタル化と菜の花ライブラリーでの公開を進めている。 ・千葉県関係新聞の劣化が進んだマイクロフィルム、原紙について、保存、公開のためのデジタル化を進めている。				
		インターネット上の地域行政資料の収集・提供方法の検討 ・県として遺すべき千葉県に関するインターネット上の情報の収集方法を検討する。 ・県や他機関等の未デジタル化情報の状況を調査し、公開に向けた連携・支援の方法を検討する。	▷	▷	▷	・ポーンデジタルの行政資料について、他県の事例を調査し5団体へヒアリングを行った。 ・県や他機関との連携・支援については、事例研究を行っている。				

リスト・図書せか：ファイル「R7図書推進観作成ツール.xlsx」のとおり  
レファ協：レファ協ページで確認。「軽便鉄道」「旧船田橋」「バス路線」「皇宮神社」「野田市東」  
※R6下段の数字は国立国会図書館の統計算出用プログラム改修後（Web巡回ロボットによるアクセス数を除外）に再抽出したもの

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値		
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末	
5 県民が利用しやすいサービス	図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	電子書籍サービスの提供 ・電子書籍を整備し、電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶	・電子書籍の提供コンテンツ数（R6 4,850点、R7 5,122点（12月末現在））。 ・各館で講座等を開催するとともに、各媒体で広報に努めた。R6（中央）「電子書籍体験講座」（西部）「読書サポーターのためのICT活用講座」（東部）「電子書籍サービス体験会」 R7（中央）県庁電子書籍体験会（前掲：県の政策形成の支援）（東部）電子書籍体験会 [広報]県広報紙等、ローカルテレビ・ラジオ、SNS	電子書籍の利用数	20,000回	21,679回	26,253回	
		障害者用コンテンツの提供 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等を作成し提供する。 ・サピエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データを提供する。	▶	▶	▶	・点訳絵本製作 R6：2タイトル4冊 R7：2タイトル4冊 録音図書製作 R6：10タイトル製作、R7：5タイトル製作27タイトル制作中 テキストデータ製作 R6：14タイトル製作、R7：2タイトル製作、4タイトル制作中 ・国立国会図書館へデータ提供R6：12タイトル（録音図書8タイトル、テキストデータ4タイトル）R7：1タイトル（録音図書1タイトル）	国立国会図書館提供データダウンロード数	5,600回	4,515回	2,533回	
		遠隔対面朗読の実施 ・ウェブ会議システム等を使用して、図書館に来館せずに自宅等で利用できる音訳サービスを提供する。	▶	▶	▶	・遠隔対面朗読 R6：実績なし R7：12月末まで実績なし。多くの方にサービスを知ってもらうよう広報を行っていく。 ・R6「読書サポーター体験講座」では、音訳者を講師に迎え、遠隔対面朗読の体験会を実施した。					
		講座・イベントのオンライン開催 ・ウェブ会議システム等を活用し、オンライン上で講座・イベントを開催する。 ・講座・イベント会場から同時配信する環境を整備する。	▶	▶	▶	オンライン等でも開催した講座 （中央） 読書バリアフリー講座 音訳者養成講座（初級） くらしに役立つ法律・判例講座（講演） （西部） 読書サポーター体験講座1日目 読書サポーターのためのICT活用講座 音訳者養成講座 サイエンス・カフェ 読書バリアフリー講座（流山市・印西市） （東部） 読書バリアフリー講座					
		読書バリアフリーの推進 ・市町村立図書館職員、学校教職員、支援者等への公開講座や出前講座を開催する。 ・市町村立図書館等に読書バリアフリー資料紹介セットを貸出す。 ・関係機関と情報共有ネットワークを構築し、サービスを必要とする人に情報を届ける。	▶	▶	▶	・講座研修（3館）読書バリアフリー講座（県民・市町村・学校）、公共図書館等新任職員研修会講義「障害者サービス」（市町村） （西部）【R6新規】「読書サポーター体験講座」（高校生・大学生の若年層対象） 「障害者サービス研修会」（市町村・学校） ・読書バリアフリー資料紹介セットの貸出 R6：貸出9件、訪問読書支援等での活用等6件 R7：貸出3件、講座等での活用等10件。 R6図書館で利用できる読書を支援するツールの紹介動画を9点作成し、YouTube千葉県公式PRチャンネルに公開した。					
		高齢者の「生涯現役社会」につながるサービスの提供 ・高齢者の社会参加や課題解決につながる情報提供やサービスを提供する。	▷	▷	▶	R6 関東地区都県立図書館館長会議に係る聴取事項において、加盟館の高齢者サービス実施状況高齢者サービスについて情報収集を行った。 ・文学作品等を声に出して読むことで心身の健康の増進をめざす音読教室を開催した。 （東部）はつつ音読教室 R6：4回、R7：2回					
		多文化サービスの提供 ・日本語を母語としない県民やその支援者のニーズを調査し、多文化サービスのあり方を研究する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会などのイベントを実施する。	▷	▷	▶	・サービスを検討するにあたっての基礎調査や先進事例の情報収集を行っている。 ・図書館ホームページ掲載の利用案内ページについて、やさしい日本語版の作成検討を進めている。 ・世界とふれあうおはなし会を開催した（前掲：外国にルーツのある子どもや保護者等への支援）					

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値	実績値
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
		<p>新館におけるバリアフリーサービスの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン手話通訳サービス、手話通訳者や託児スタッフの配置など新しいサービスのあり方を研究する。</li> <li>・障害や発達段階別のおもちゃや福祉機器等に触れられるイベント等の実施について研究する。</li> </ul>	▷	▷	▷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書バリアフリーのサービス計画の検討を今後進める。その中で、先進事例の情報収集を行うとともに、新館におけるバリアフリーサービスの研究を行っていく。</li> </ul>				
		<p>新館における非来館型サービスの研究・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用案内、調べ案内の24時間対応サービスについて研究・開発する。</li> <li>・簡易レファレンスのオンライン・自動対応化について研究・開発する。</li> <li>・スマートフォンで利用できるバーチャル図書館について研究・開発する。</li> <li>・県立図書館資料の県内市町村立図書館等での受取・返却について研究する。</li> </ul>	▷	▷	▷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6 資料貸出券番号のオンライン登録サービスを開始した。</li> <li>・リクエストの申込み手続き（県内取り寄せ、未所蔵資料リクエスト）のオンライン化について、情報収集と検討を行った。</li> </ul>				

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			計画期間における主な取組（見直しを含む）	評価指標	目標値	実績値	
			R6	R7	R8				R6	R7.12月末
6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座の実施 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	県立3館の特長を活かして法律、科学、文学、バリアフリー等の講座を開催した。 (中央)暮らしに役立つ法律判例情報講座 (R6:62人、R7:49人) (西部)読書サポーター体験講座 (R6:24人、R7:33人) (西部)サイエンス・カフェ (R6:30人、R7:33人) (東部)文学講座 (R6:19人、R7:31人) (東部)歴史講座 (R6:20人、R7:27人)	県民向け講座等の参加人数	395人	557人	370人
		県民向け講座の受講機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や出前講座の開催、研修動画の配信を実施する。	▷	▶	▶	・オンラインによる遠隔開催（前掲：講座・イベントのオンライン開催） ・出前講座開催 (中央)読み聞かせボランティアステップアップ講座（館山市立図書館） (西部)読書バリアフリー講座（R6:流山市立南流山地域図書館、R7:印西市文化ホール） ・研修動画の配信 (中央・西部)読書バリアフリー講座（アーカイブ配信） (中央)サピエ図書館活用講座（アーカイブ配信）				
		学び直しの場の提供 ・県民が自学自習できる場としての機能・環境を提供する。	▶	▶	▶	・インターネット利用席、持ち込みパソコン利用席、公衆無線LAN環境等の情報環境を整備している。 ・先進的な取組について情報収集をし、新館の施設・設備について検討を進めている。 ・放送大学との間で今後の連携に関する協議を開始した。				
		県民参加型プロジェクトの研究 ・県民が継続的に参加できる多様なプロジェクトのあり方を研究する。	▷	▷	▶	公の施設のイベントに協力するなどして県民のニーズを情報収集している。 (子ども読書の集いでの展示、R6君津亀山青少年自然の家での絵本とわらべうた)				
		県民が交流できる場の提供 ・図書館協力者、ボランティア、市民活動団体等の連携・協働を促進するための交流会を企画する。 ・図書館協力者、ボランティアの育成研修会を企画する。	▷	▷	▶	・先進事例の視察・ヒアリング、関連する研修の実施、外部研修への職員派遣などにより情報収集をし、研究している。(R6千葉県がんセンター患者図書室視察) ・各館毎に開催している音訳者養成講座については、他館委嘱音訳者の受講を可能とし、交流・情報交換の場の素地を作った。				
		新館における知的交流のあり方の研究 ・県民が人脈形成しながら連携・協働ができる場について研究する。 ・新館に整備予定の研修室や展示コーナー等の活用方法について検討する。	▷	▷	▷	先進的な企業のオフィスやF A Bスペースのある図書館などを視察したり、電話等での問い合わせを行うなど情報収集している。				
	積極的な広報・PRの推進 ・県立図書館ホームページ、X（旧ツイッター）等SNSで、積極的に情報を発信する。	▶	▶	▶	・図書館ホームページで展示・イベント等の情報を発信 ・X(旧Twitter)で時宜にあわせた資料紹介等を発信 ・中央図書館で館の内側を公開するバックヤードツアーを開催した。	X（旧ツイッター）等SNSのフォロワー数	208人	178人	74人	
(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。	▶	▶	▶	・中央博物館、県立美術館、関宿城博物館、現代産業科学館、房総のむら、文書館、さわやかちば県民プラザ、君津亀山青少年自然の家、視覚障害者総合支援センターちば、千葉市美術館、アジア経済研究所等と連携し、展示、講座、資料貸借等を実施した。	連携事業の実施回数	20回	25回	28回	
	連絡調整会議の開催 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等との連絡調整会議を定期開催する。	▶	▶	▶	・中央博物館、文書館、さわやかちば県民プラザと意見交換会を6月と12月の2回実施した。	連携イベント参加者数	364人	422人	354人	

※各年度とも目標値を目指す。

凡例 ▶ 実施  
▷ 検討

## 千葉県読書バリアフリー推進計画の進捗状況について

令和8年2月18日

千葉県教育庁生涯学習課

千葉県読書バリアフリー推進計画では、読書バリアフリー推進に係る目標を設定し、毎年進捗状況を確認するとしております。市町村の進捗状況については、生涯学習課が実施する調査において把握することとしており、今年度の調査結果がまとまりましたので、県立図書館等の項目を含めた推進計画目標の令和7年度の進捗状況と併せて報告します。

なお、本年度は中間年に当たることから、別途生涯学習審議会読書バリアフリー推進部会を開催し、点検・評価を行います。

**1 調査時期**

令和7年9月

**2 対象**

県内市町村教育委員会に依頼（回答率100%）

- ・ 県内37市16町1村のうち、図書館設置は40市町（35市5町）。
- ・ 千葉県公共図書館協会加盟87館（図書館73館、公民館図書室等14館）の結果を反映。

**3 調査結果**

別紙の一覧表のとおり。

**4 課題と対応**

- ・ 資料による障害者サービスの案内について、県内100%の実施を目標としているが、伸び悩んでいる。独自の案内を作成していない市町村でも、県作成の読書バリアフリーリーフレットを活用して広報してもらう想定であったが、対象者が図書館を利用していない場合には案内を行う機会自体がないことを考えると、県として広く図書館利用を周知する必要があると思われる。
- ・ 市町村での推進計画策定について、未定の49市町村に対しては、職員研修等において計画の趣旨等について説明し、策定を促す。また、福祉部門の計画等他計画の一部としての策定も視野に入れた周知も検討する。

千葉県読書バリアフリー推進計画p31「読書バリアフリー推進に係る目標」

(別紙)

	指 標	計画掲載数値 (注記のないものは 令和3年度実績)	R5年度 (注記のないものは 令和4年度実績)	R6年度 (注記のないものは 令和5年度実績)	R7年度 (注記のないものは 令和6年度実績)	目 標	
1 視覚障害者等による図書館の利用に係る体制を整備する	図書館施設、読書支援機器の整備	※R4.10時点	※R5.11時点	※R6.9時点	※R7.9時点		
	県立	①点字ブロック	3/3館	3/3館	3/3館	3/3館	
		②対面朗読室	3/3館	3/3館	3/3館	3/3館	
		③拡大読書器	3/3館	3/3館	3/3館	3/3館	
	市町村	①点字ブロック	37/86館	43/87館	44/87館	46/87館	①100%
		②対面朗読室	28/86館	27/87館 +2館 専用室ではない場所に対応	26/87館 +3館 専用室ではない場所に対応	27/87館 +3館 専用室ではない場所に対応	②③整備済館数の増加を目指す
		③拡大読書器	41/86館	41/87館	41/87館	44/87館	
		障害者サービス登録利用者数	1,601人	1,461人	1,486人	1,543人	合計人数の増加を目指す
		県立	434人	433人	410人	415人	
		市町村	1,167人	1,028人	1,076人	1,128人	
		バリアフリー資料の所蔵冊数					増加を目指す 出典：『千葉県の図書館』
	県立	①点字図書	606	614	619	628	
		②大活字本	5,817	5,974	6,110	6,265	
		③録音図書	17,973	18,056	18,144	18,230	
	市町村	①点字図書	13,208	13,691	13,097	13,557	
	②大活字本	86,198	87,491	88,961	90,798		
	③録音図書	20,053	20,112	20,260	21,175		
	録音図書等のデータ利用数					増加を目指す	
県立		4,840件	6,155件	5,462件	4,515件	県内図書館が国立国会図書館に提供したデータのうち、利用された延べ数	
市町村		45,470件	50,478件	47,809件	43,313件	出典：国立国会図書館 視覚障害者等用データの利用状況	
	視覚障害者等へのサービスを資料により案内している自治体の割合	※R4.10時点	※R5.11時点	※R6.9時点	※R7.9時点		
県		100% (1/1県)	100% (1/1県)	100% (1/1県)	100% (1/1県)		
市町村		33.3%(18/54 市町村)	31.5%(17/54 市町村)	31.5%(17/54 市町村)	37.0%(20/54 市町村)	県内市町村を100%とする	
	視覚障害者等向けサービスを開始している自治体の割合	※R4.10時点	※R5.11時点	※R6.9時点	※R7.9時点	対面朗読、点字図書・録音図書の貸出のいずれかを実施。他館からの借用やダウンロードによる提供を含む。	
県		100% (1/1県)	100% (1/1県)	100% (1/1県)	100% (1/1県)		
市町村		70.4% (38/54市町村)	72.2% (39/54市町村)	79.6% (43/54市町村)	79.6% (43/54市町村)	県内市町村を80%とする	
	公立図書館等と連携している学校の割合	※R2年度時点	※R3年度時点	※R4年度時点	※R5年度時点	出典：千葉県社会教育調査	
		71.20%	70.79%	70.82%	71.67%	100%	
	読書バリアフリー推進計画を策定した市町村数	1市 (船橋市)	1市(船橋) ほか策定予定1市(千葉、野田、佐倉)	3市(船橋、野田、佐倉) ほか策定予定1市(千葉)	3市(船橋、野田、佐倉) ほか策定予定2市(千葉、柏)	20市町村で策定する	
2 制用を強化する インターネットの提供を体制	年間データ提供件数					公立図書館は国立国会図書館へ、点字図書館は サビエ図書館へ	
	県立		21件	28件	26件	12件	同水準を維持する
	点字図書館		320件	381件	338件	268件	
市町村		3市157件	3市123件	3市121件	3市102件	6市町村で提供する	

	指 標	計画掲載数値 (注記のないものは 令和3年度実績)	R5年度 (注記のないものは 令和4年度実績)	R6年度 (注記のないものは 令和5年度実績)	R7年度 (注記のないものは 令和6年度実績)	目 標
	オンライン対面朗読実施回数					増加を目指す
	県立	6回	21回	18回	0回	
	市町村	0市0回	1市8回	2市16回	1市10回	
	国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス またはサピエ図書館によりデータをダウンロードし、 利用者に提供している自治体数	※R4.10時点	※R5.11時点	※R6.9時点	※R7.9時点	
	県	1/1	1/1	1/1	1/1	
	市町村	13/54	16/54	17/54	17/54	20市町村で実施する
3 書籍等の製作を支援する	[再掲] 年間データ提供件数	[再掲]				公立図書館は国立国会図書館へ、 点字図書館はサピエ図書館へ
	県立	21件	28件	26件	12件	同水準を維持する
	点字図書館	320件	381件	338件	268件	
	市町村	3市157件	3市123件	3市121件	3市102件	6市町村で提供する
4 支援、端末機器通信等技術の習得に関する情報入手	端末機器等及びこれに関する情報入手の 関連講座等の実施状況					
	県立図書館 (県民・市町村職員向け) 延べ人数	78人	69人	109人	125人	県立図書館の講座の受講人数 (述べ) 130人
	6回 ・読書バリアフリー講座 ・サピエ図書館活用講座		3回 ・読書バリアフリー講座 ・サピエ図書館活用講座	4回 ・読書バリアフリー講座 ・サピエ図書館活用講座	4回 ・読書バリアフリー講座 ・サピエ図書館活用講座	
	点字図書館 ・ 機器等の購入支援	75件	69件	86件	114件	
	情報通信技術の習得に関する講座等の 実施状況					取組を継続する
点字図書館 ・ 機器等の取扱い指導	88件	78件	87件	95件		
・障害者ITサポートセンター におけるパソコン教室	全30講座、延べ 1,064人	全30講座、延べ 1,108人	全30講座、延べ 1,218人	全30講座、延べ 1,687人		
5 製作人材・図書館サービス人材を育成する	音訳者等の養成講座等の実施状況	161人	152人	126人	204人	190人
	県立図書館 (図書館音訳者・テキスト 訳者等向け) 延べ人数	106人	108人	85人	156人	
	回数・内訳	9回 ・図書館音訳者養成講座 ・障害者のための資料デジタル化講座	9回 ・図書館音訳者養成講座 ・障害者のための資料デジタル化講座	5回 ・図書館音訳者養成講座 ・ICT活用講座	9回 ・図書館音訳者養成講座 ・読書サポーターのためのICT活用講座 ・読書サポーター体験講座	
	県	36人	24人	20人	31人	
	・点訳奉仕員養成事業 (養成人数)					
	・朗読奉仕員養成事業 (養成人数)	19人	20人	21人	17人	
図書館サービス人材育成に係る研修会等の 実施状況 (県内公共図書館等職員向け)	6回	4回	4回	4回	取組を継続する	
県立図書館	延べ172人	延べ233人	延べ214人	延べ235人		
	・公共図書館新任職員研修会 ・図書館長研究協議会 ・障害者サービス研修会	・公共図書館新任職員研修会 ・図書館長研究協議会 ・障害者サービス研修会	・公共図書館新任職員研修会 ・図書館長研究協議会 ・障害者サービス研修会	・公共図書館新任職員研修会 ・図書館長研究協議会 ・障害者サービス研修会		

## 予 算

(3館合計金額 単位:千円)

事業名	令和8年度(案) (A)	令和7年度 (B)	前年度比 (A)/(B)%	摘 要
1 資料の収集	71,065	70,351	101.0%	県民の調査研究活動支援や市町村図書館及び高等学校等への協力・援助を行うための資料収集・整備費
(図書等購入費)	( 57,166 )	( 57,006 )	( 100.3% )	
(逐次刊行物購入費)	( 13,899 )	( 13,345 )	( 104.2% )	
2 利用者サービス業務	18,645	18,339	101.7%	県民の調査研究や読書活動支援のための専門的な資料・情報提供、障害者サービス・子どもの読書推進に係る経費
3 協力・援助業務	25,485	24,239	105.1%	市町村図書館や行政・大学・高等学校等に対して資料の相互貸借・搬送、運営相談に係る経費
4 電算業務	98,439	98,184	100.3%	図書館業務用電算システム維持管理費
5 その他の図書館運営費	306,681	338,344	90.6%	館舎の維持管理・運営・広報等に係る経費
合 計	520,315	549,457	94.7%	

## 令和8年度事業計画（重点事業）（案）

**第1 県内図書館の中核としての役割**

- (1) 市町村立図書館等への支援
  - ・運営相談の実施
  - ・新館における資料搬送サービスの検討
- (2) 図書館職員研修の充実
  - ・研修内容の充実
  - ・研修機会の拡充（オンライン研修、研修動画の配信等）

**第2 子どもの読書活動の推進**

- (1) 地域の子どもの読書環境整備の推進
  - ・読み聞かせ活動の推進（ボランティアの養成）
  - ・学校向け電子書籍サービスの実施（対象学校数の増）
  - ・外国にルーツのある子どもや保護者等への支援  
（母語に触れることができる児童書等の収集）
- (2) 学校図書館への支援
  - ・資料の貸出  
（学校貸出セットの整備、未登録校に対する新規登録の促進）
  - ・特別支援学校への訪問読書支援の実施
  - ・市町村立図書館と小・中学校図書館連携の支援  
（市町村立図書館等を経由した小中学校への貸出）
  - ・資料の県立学校間貸出の運用等の検討

**第3 課題解決支援図書館**

課題解決支援サービスの充実

- ・課題解決支援サービスの提供（パスファインダーの作成・提供）
- ・県内機関との連携強化（アジア経済研究所、放送大学）
- ・新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究

## 第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進

- ・千葉県関係資料の収集の充実
- ・千葉県関係資料の提供
- ・千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化
- ・千葉県関係の情報検索ツールの充実

## 第5 県民が利用しやすいサービス

図書館利用が困難な人々へのサービスの充実

- ・電子書籍サービスの提供
- ・読書バリアフリーの推進
- ・講座・イベントのオンライン開催
- ・多文化サービスの提供
- ・新館における非来館型サービスの研究・開発  
(オンラインによる手続きの充実)

## 第6 機能の重なりから生まれるもの

(1) 知的交流の場の提供

- ・県民向け講座の実施
- ・県民向け講座の受講機会の拡充（オンライン開催、動画配信）
- ・図書館の積極的な広報の推進  
(ソーシャルネットワーキングサービスSNSの活用等)

(2) 博物館などとの連携の推進

- ・博物館、文書館、さわやかちば県民プラザ等の連携による展示、講座等の実施